

はなわ 議会だより

2016
No.136

発行/福島県塙町議会
平成28年10月21日

ようかいに
へ〜んしん!

塙幼稚園運動会

9月定例会

平成27年度決算認定	P 2
決算特集	P 4・8
町長公約など8議員が町政をたず	P 10~17
議員定数等検討協議会発足	P 20

27年度決算
認定

90.9% 町税収納率前年度を上回る

収入未済額いっそうの縮減を！

9月
定例会

9月定例会の
あらまし

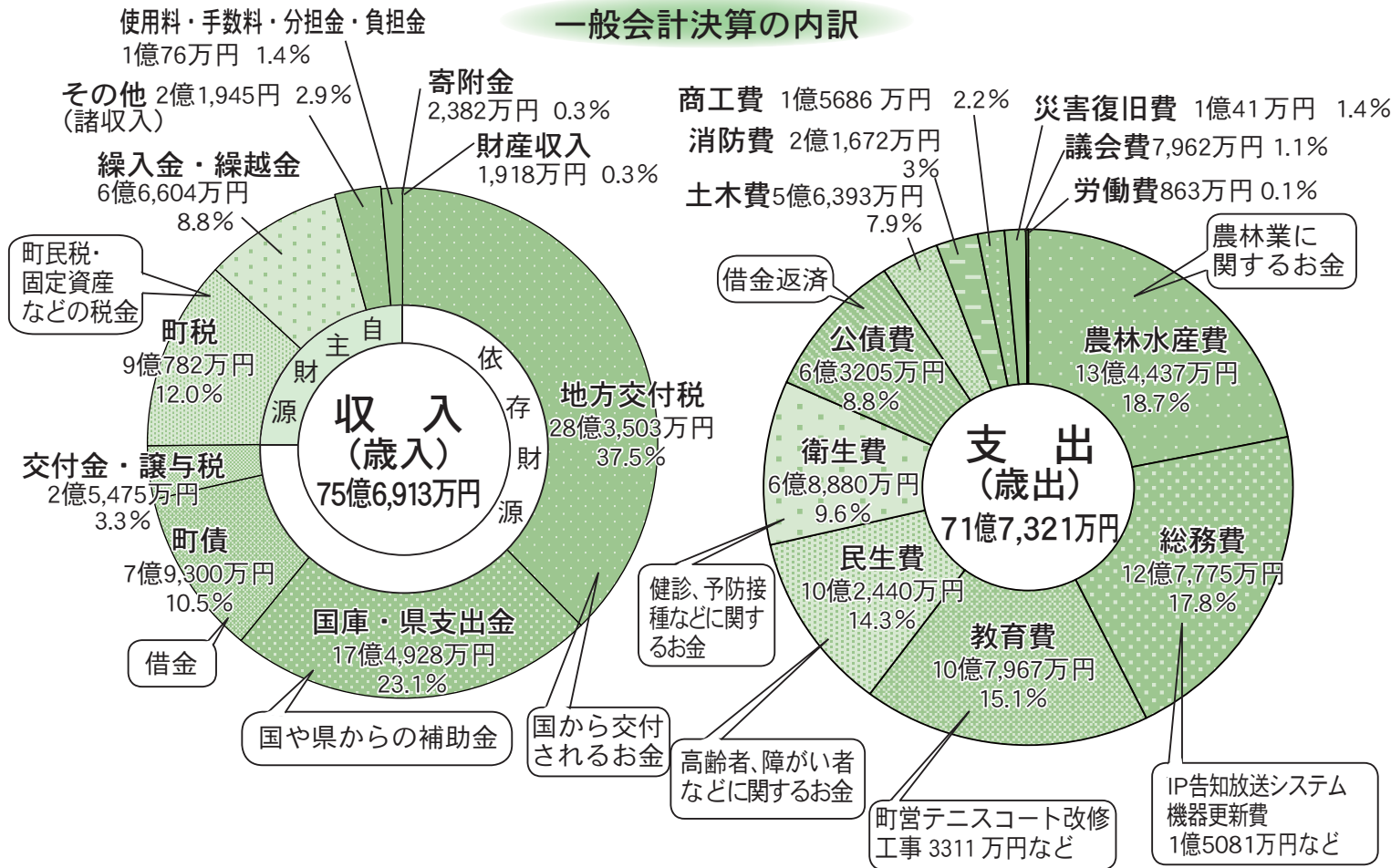
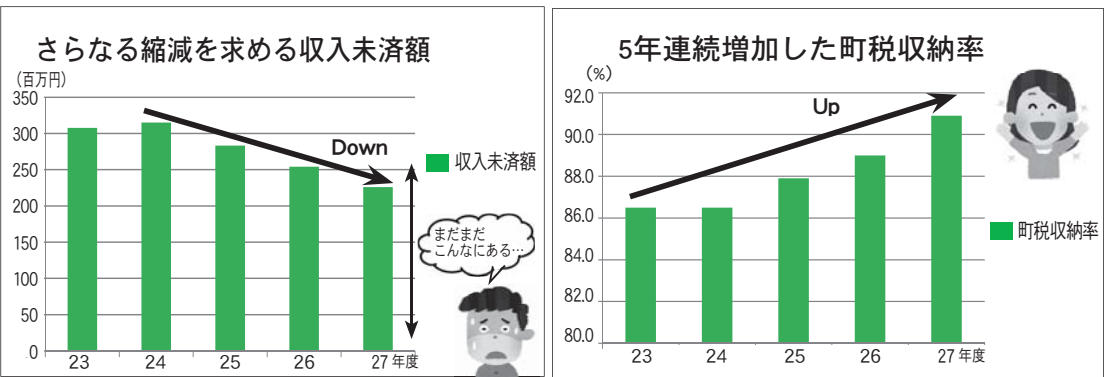
9月定例会は9月8日から15日までの8日間の会期で開催しました。
第1・2日目に、平成27年度繰越明許費報告の後、条例3件、工事請負契約締結1件、権利の放棄1件、平成28年度会計補正予算6件、平成28年度会計決算認定8件を一挙上程し、決算認定を予算決算常任委員会に付託しました。
第3・4日目に、8人の議員が一般質問を行い町長公約な



税金は、埴町役場、金融機関、コンビニエンスストア等で納付でき、町民一人一人の納税が収納率向上に繋がる

町 収入の根幹である町税は9億780万円、前年度を2,590万円上回った。これで町税収入は5年連続増加した。また、収納率も1.84ポイント改善し90.9%となった。滞納者対応の厳格化、徴収嘱託員の設置など滞納対策の強化が数字になって表れている。
また、収入未済額（滞納によるもの、水道会計を除く）も前年度に比べ、820万円減少し、3年連続の減少となった。しかし、その額は町税9,010万円、国民健康保険税1億1,040万円、公共下水道

益者分担金1,480万円など2億2,590万円に上る。一層の徴収努力が求められる。
なお、不納欠損額は399万円、前年度に比べ628万円減少した。
収入未済額
自治体が歳入を徴収しようとする際に、調定（予定される収入金額を決定する行為）を行ったにもかかわらず、出納閉鎖日の5月末日までに収納されなかった金額を歳入歳出決算上、収入未済額という。この収入未済額は翌年度に繰り越され、引き続き督促等を行い徴収に努めることとなる。
不納欠損額
収入未済額のうち将来にわたり納入される見込みがないものや一定期間を経過したものなど、支払義務が消滅したもの。



本会議で決算審査報告をする石川代表監査委員

多額の实质赤字打破を
水道事業は、将来にわたり持続可能なものとして行くためには収支バランスの改善、採算性の向上に向け企業感覚をもって経営効率化を着実に段階的に実行し、同時に利用者にも現状に対する

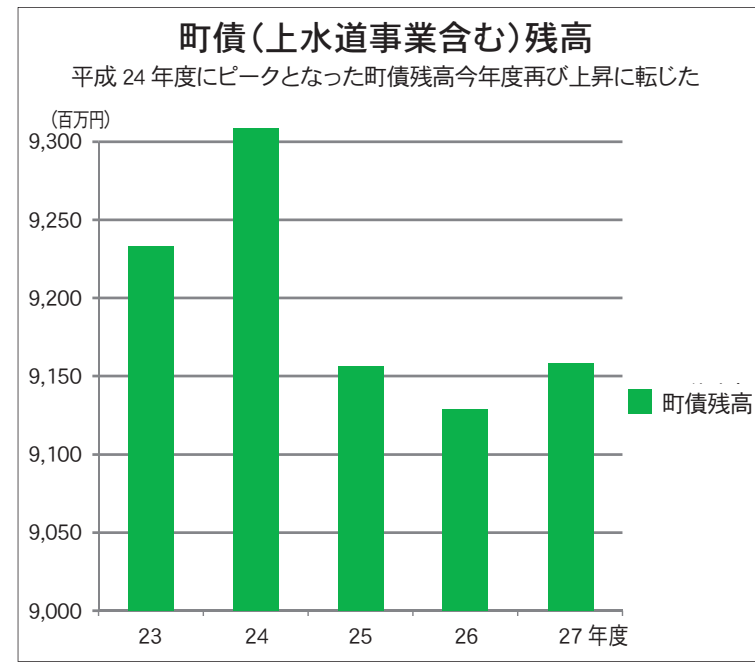
「自立可能」を目指し 施策の推進を
理解と相応の負担を求めるために積極的な情報提供を行っていくことが必要と思われる。
財政健全化努力を評価、新町長のリーダーシップに期待
菊池町政の3期12年において町の借金は水道事業会計含め約100億円から92億円と約1割減った。また、町の貯蓄は約12億円から29億円と約2.4倍に増えた。財政健全化に向けた努力の成果と評価するところである。
今後は財政維持のために必要な歳入をいかに自力で増やせるかが問われることになる。多くの自治体が「自立可能」を目指し試行錯誤を繰り返しているとお見受けすることではない。しかしながらこれらを承知の上で敢えて「安心して暮らせるまち」であるために町・住民が一体となりこの課題に取り組みられるよう新町長のリーダーシップを期待する。

特集 その1

増える町債(借入金)残高

財政は健全なのになぜ借金？

平 成27年度の町の借金である町債は、円上回った。また、町債残高も91億5,605万円にのぼり前年度より2,8億2,600万円



965万円増加した。IP告知端末、光ファイバーの整備や中学校建設などの大型事業のため増大した借金残高がいったん減少したものの、道路整備や給食センター建設事業などで平成26年を境に増加に転じている。

町 債は、国の財政対策などによるものを除き道路、学校等の公共施設の整備や災害復旧事業、また上下水道事業などの公営企業のための経費に限定されている。

財政健全化比率

(単位：%)

健全化判断比率	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	—	15
連結実質赤字比率	—	—	—	—	20
実質公債費比率	9.2	8.6	8.1	7.5	25
将来負担比率	41.5	16.9	22.9	19.7	350

※比率欄の「—」は実質赤字額、連結実質赤字額がないため該当しないことを表す。

町 債残高は増加しているが財政の健全化を判断する数値はいずれも低下しておりこの指標からは町の財政は健全と言える。

健全化判断比率は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき定められ、平成20年度(平成19年度決算)から公表が義務付けられており、4つの指標のいずれかが早期健全化基準以上となること、早期健全化団体として財政健全化のためは是正措置を講じなければならぬことになっている。

本町のこれら指標は、いずれも基準を大幅に下回っており財政は健全である。

実質公債費比率
地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業に対する繰出金など(普通交付税が措置されたものを除く)に充当されたものを占める割合。

将来負担比率
当該地方公共団体の財政規模に対して将来負担すべき実質的な負債の比率。借金の返済能力を示す指標。

適正な町債発行

町 債(借金)は財政運営上有効な手段である。次ページに示すように施設建設費用は将来にわたって使用する人たちも負担するのが公平といえる。

したがって、借金の返済という形で、後年度に施設建設費用を負担する町債の制度は合理的しくみなのである。

7割が交付税措置
かし人口が減少すると借金返済者も



町債を発行して建てられた給食センター。これから先何十年も利用され続けます。

地方債の役割

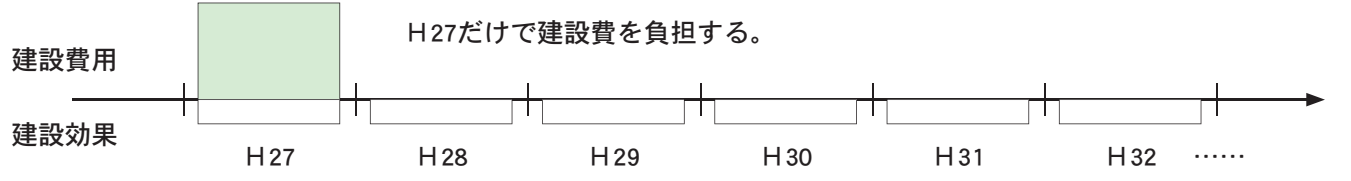
※地方債 地方公共団体が行う借入れのこと。町の場合は町債という。

1. 町民負担の世代間公平のための調整

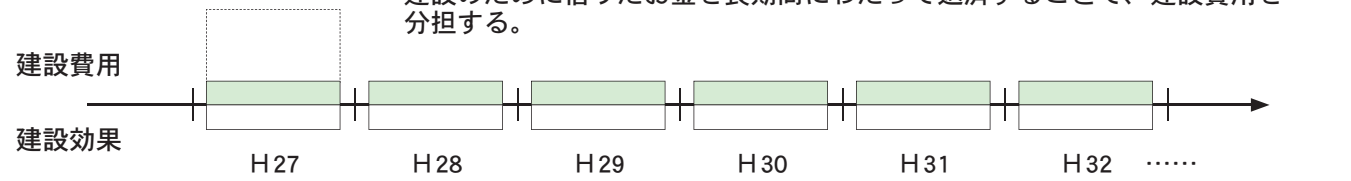
地方公共団体は、道路、公園、学校等の公共施設の整備を行っているが、これらの公共施設は、将来にわたって何世代も人が利用することができる。地方債という制度がなければ、整備したときの住民の負担(税金など)となり、税金等で負担した世代とその公共施設を利用した世代間の不公平が生じてしまう。そこで、公共施設整備を地方債で行うことにより、それを利用する将来の住民に地方債の元利償還金という形で負担してもらい、世代間の負担の公平を調整するという役割を果たすものである。

※1 元利償還金 地方債の返済のための、借りたお金(元金)と、それに対する利子を支払う金額のこと。

〈地方債を活用しなかった場合〉



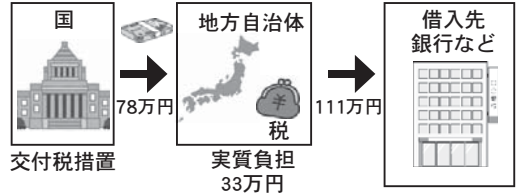
〈地方債を活用した場合〉



2. 財政支出と財政収入の年度間調整

災害復旧や大規模建設事業など、一時的に多額の経費が必要になった場合に、地方債により資金を調達、事業をスムーズにすすめていくことができる。また、地方債という元利償還金という形で、後年度にその経費の支払いを平準化することができる。

例 仮に、1000万円を10年返済(利率年2%)で借り入れたときの返済額は年111万円となるが、その7割相当が交付税措置の場合は、78万円が交付税措置され残り33万が実質負担となる。



減少することになり、ひとりあたり負担が増加し、財政運営が厳しくなる。

そこで町は、国の制度を活用し借金返済時に地方交付税という形で収入が得られるような借入れをしているのである。前述のとおり、平成27年度末の借金の残高は91億5,605万円であるがその約7割は交付税措置の対象となっている。このため、返済額が事実上緩和され財政指標は健全な数値となっているのである。

権利の放棄

◎権利の放棄について
旧湯岐山荘の温泉使用料26万8800円は、一定期間経過し納入される見込みがないことから、徴収権の放棄を議決した。

質疑

現在所有者が変わっているが、固定資産税は売却した相手が支払っているのか。

答弁

現在所有者は変わっており、固定資産税の滞納はない。

補正予算

◎平成28年度埴町一般会計補正予算(第2号)
6億5260万8800円を増額し、補正後の額を71億4783万9000円とする。

予算を減額した主な事業

町道維持工事	△6800万円
川上東河内線・中平和久線測量設計業務	△5220万円
板庭田野作湯舟線改良工事	△1億4200万円
下植田橋修繕工事	△2832万円
B&Gプール上屋改修工事設計業務委託	△1150万円

第3分団第2班屯所新築工事の増、板庭田野作湯舟線改良工事の減、B&Gプール上屋改修工事設計業務委託の減など。

質疑

予算現額の理由は。

答弁

道路関係予算は要望どおり補助金が多かった。国は新たな道路や橋をつくるのではなく、今までもの点検や補修に重点的に配分する傾向にある。要望どおりになっていないのは埴町に限ったことではない。B&Gプールは検討の結果、現有施設を補修しながら使っていくという結論に達したため、減額となっている。

質疑

外国人誘客促進パンフレットを作成するというが。

答弁

東北地方の観光復興のための補助金で、外国人向けに観光のパンフレット等の作成や、ホームページやスマートフォンで外国人向けに情報発信していく。

人事

教育長に秦公男氏

教育長任命に同意



秦 公 男 氏(本町)

- ・平成19年4月 常豊小学校校長
- ・平成21年4月 県教育庁県南教育事務所勤務
- ・平成26年4月 郡山自然の家所長
- ・平成28年4月 埴小学校校長
- ・平成28年9月 退職

◎平成28年度埴町公下水道事業特別会計補正予算(第1号)

答弁

国は平成29年度から、この経営戦略を策定していない市町村には、地方交付税措置の一部を行わないとしている。そのため今後10年間、水道、下水道事業を健全な事業としてやっていけるよう、計画を作らなければならない。コンサルタントに委託する予定だが、職員も関わって作成していきたい。

質疑

経営戦略策定業務委託料は、どういふものでどこへ委託するのか

決算審議

新設 予算決算常任委員会

予算執行を厳しく審査

今年度新たに新設された、議長を除く13名の議員で構成する予算決算常任委員会では、一般会計・特別会計等8決算を慎重に審査しました。委員会の質疑の中からいくつかを要約してお伝えします。

一般会計

HP

◎ホームページの更新
新をしたというが、暗い感じがする。町の顔である。改善の余地が多い。地域行事なども積極的に掲載してはどうか。

答

毎月4万件以上のアクセスがある。全職員が更新できる体制づくりを進めたい。固い雰囲気となっているので改善したい。年間行事も随時掲載できるようにしていく。

滞納整理

◎滞納者の財産調査
滞納者の財産調査や差し押さえなど滞納整理を進める。IP告知等の使用料については電話料と合わせて引き落とししているが、電話料そのものを払わないケースも増えているようだ。今後は、徴収体制を強化したい。

答

滞納者の財産調査や差し押さえなど滞納整理を進める。IP告知等の使用料については電話料と合わせて引き落とししているが、電話料そのものを払わないケースも増えているようだ。今後は、徴収体制を強化したい。

答

滞納者の財産調査や差し押さえなど滞納整理を進める。IP告知等の使用料については電話料と合わせて引き落とししているが、電話料そのものを払わないケースも増えているようだ。今後は、徴収体制を強化したい。

子育て

◎子育て支援事業への参加者が少ない。改善策は。

◎子育て支援事業への参加者が少ない。改善策は。

◎子育て支援事業への参加者が少ない。改善策は。

◎子育て支援事業への参加者が少ない。改善策は。

◎子育て支援事業への参加者が少ない。改善策は。

健診

◎町の健診だけでなく各会社で行っている健診のデータを一元化して健康行政の基礎データとして活用す

◎町の健診だけでなく各会社で行っている健診のデータを一元化して健康行政の基礎データとして活用す

◎町の健診だけでなく各会社で行っている健診のデータを一元化して健康行政の基礎データとして活用す

特産品

◎旧薩摩酒造工場
焼酎を製造するため、県の補助で事業に取り組んだ。総事業費は970万円で、施設の修繕に752万円、焼酎製造に向けた調査業務委託に218万円がかかった。現在の施設を活用して麦を原料に製造するのがよいとの調査結果であった。

◎旧薩摩酒造工場
焼酎を製造するため、県の補助で事業に取り組んだ。総事業費は970万円で、施設の修繕に752万円、焼酎製造に向けた調査業務委託に218万円がかかった。現在の施設を活用して麦を原料に製造するのがよいとの調査結果であった。

◎旧薩摩酒造工場
焼酎を製造するため、県の補助で事業に取り組んだ。総事業費は970万円で、施設の修繕に752万円、焼酎製造に向けた調査業務委託に218万円がかかった。現在の施設を活用して麦を原料に製造するのがよいとの調査結果であった。

◎旧薩摩酒造工場
焼酎を製造するため、県の補助で事業に取り組んだ。総事業費は970万円で、施設の修繕に752万円、焼酎製造に向けた調査業務委託に218万円がかかった。現在の施設を活用して麦を原料に製造するのがよいとの調査結果であった。

◎旧薩摩酒造工場
焼酎を製造するため、県の補助で事業に取り組んだ。総事業費は970万円で、施設の修繕に752万円、焼酎製造に向けた調査業務委託に218万円がかかった。現在の施設を活用して麦を原料に製造するのがよいとの調査結果であった。

◎旧薩摩酒造工場
焼酎を製造するため、県の補助で事業に取り組んだ。総事業費は970万円で、施設の修繕に752万円、焼酎製造に向けた調査業務委託に218万円がかかった。現在の施設を活用して麦を原料に製造するのがよいとの調査結果であった。

道の駅

◎道の駅に対し委託料や補助金で約1500万円支出しているがその効果は。道の駅は、物産販売施設から体験メニューなども取り入れた観光の拠点として整

◎道の駅に対し委託料や補助金で約1500万円支出しているがその効果は。道の駅は、物産販売施設から体験メニューなども取り入れた観光の拠点として整

◎道の駅に対し委託料や補助金で約1500万円支出しているがその効果は。道の駅は、物産販売施設から体験メニューなども取り入れた観光の拠点として整

農業集排水処理特別会計

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

◎川上地区の加入者が4件しかない。なぜか。

水道事業会計

◎有収率が改善されていない。

◎有収率が改善されていない。

◎有収率が改善されていない。

◎有収率が改善されていない。

◎有収率が改善されていない。

国民健康保険特別会計

◎滞納者の保険はどのようにになっている。

◎滞納者の保険はどのようにになっている。

◎滞納者の保険はどのようにになっている。

消防屯所新築事業 2,365万円



屯所としては珍しい瓦屋根の第一分団第一班屯所

新しい消防活動拠点



大竹 孝和さん
(本町)

塙町の歴史を伝える代官所跡の景観に合った素晴らしい新屯所の姿に、班員一同喜びでいっぱいです。これも塙町と町議会、そして地域の皆様方のご理解とご支援のおかげです。正面に設置してある半鐘には「大正14年・常豊組」と彫られてあります。90年以上の歴史を持つこの地域の消防活動を更に発展させ、地域の皆様の安全・安心のため日々努力して参ります。

町単独土地改良事業 93万円



補助金を活用し植田区民で施工した用水路

用水の安定供給へ



金澤 博志さん
(植田)

農業をやっていて用水は必要不可欠なものです。これまでは土掘りで、降雨時の増水などにより用水路が破損しやすい状態でした。町へ陳情し、昨年度町単独土地改良事業によって一部をU字溝にし、安定的な用水を供給することが出来るようになりました。今後も、用水路整備を進めていきたいです。

町営テニスコート改修工事 3,311万円



新しく生まれ変わった町営テニスコート

練習意欲が向上

週に2回テニスコートを使用しています。一番良かったのは、水はけが良くなったので練習が中止にならなくなったことです。他には、練習しやすくなりました。



塙ソフトテニススポーツ少年団の皆さん

これからもみんなでも楽しくテニスをやりたいので、きれいなテニスコートを維持するよう心掛けたいです。

特集 その2

上下水道事業 本当に黒字なの？



損益計算書 (百万円)

営業収益	98
営業費用	212
営業外収益	174
営業外費用	25
当年度純利益	35
当年度末未処分利益剰余金	179

(うち町補助金 125)

貸借対照表 (百万円)

資産の部		負債の部	
固定資産	2,748	固定負債	973
流動資産	194	流動負債	79
		繰延収益	970
		負債計	2,023
		資本の部	
		資本金	685
		利益剰余金	235
		資本計	920
資産合計	2,942	負債資本合計	2,942

給 水原価とは水1mをつくるのにかかる費用。供給単価とは水1mを売る

給 低い有収率 水原価が割高な理由の一つに有収率

	全国平均	塙町
給水原価	208.2円	315.4円
供給単価	195.0円	151.9円
有収率	79.5%	72.1%
管路経年化率	9.9%	37.4%

※全国平均：平成26年総務省資料

塙町は2倍

値段を表す。町水道では供給単価を給水原価が大きく上回り水道料金だけでは賄っていない。また、全国平均に比べ、給水原価は高く、供給単価は安いことがわかる。

先 安い水道料 ほとんどふれたように、現在の給水原価を料金で賄うとすれば、現在の2倍の水道料金にしなければなら

町 老朽管更新を 水道の水道管は全長83kmであるがその4割弱が耐用年数を過ぎている。全国平均の管路経年化率(耐用年数を経過した水道管延長の割合)9.9%に比べ約3割も高い状況にある。漏水対策は新たな水源対策でもある。老朽管更新は喫緊の課題である。

水道20m料金(円)

町	村	名	上水道	簡易水道
塙	倉	町	2,836	—
柵	祭	町	4,380	4,380
矢	川	村	—	2,425
鮫	村	—	—	2,535
西	郷	村	2,592	—
泉	崎	村	3,618	—
矢	吹	町	3,780	—
県	平	均	3,674	3,406

※上水道は給水人口5千人超101人~5,000人が簡易水道。柵倉町には両方の施設がある。

が低いことが上げられない。近隣町村の水道料金はそのような状態になっているのか表にまとめてみた。(県水道統計より) 料金は、原価をもとに算定されるべきで、水源の方式や水質などによって異なる。また、かかった費用を利用者が負担するので、利用者が多いほど安くなる傾向がある。一方水道事業には上水道と簡易水道があるが、簡易水道は上水道より補助金等の財政支援が厚いため水道料を抑えられる。本町の水道料は、県平均の約8割で、消費税制度に伴うものを除いて約30年以上料金改正されていない。

3割が漏水？ 補助金に依存する不採算構造 1円の収入を得るため2・08円のコスト

給食費無料化、本当に実施は必要なのか 決して“マイナスはない”と信じ進めていきたい



鈴木 安次

米百俵の精神で

質問 無料化で人口減少が止められるのか。税金をバラまきするのではなく、米百俵の精神で

質問 無料化によって相当の財源が必要になる。町民への説明をすべき。また、税金のバラまきとくらえられる。
答弁 振興計画に載せ29年度から実施したい。必要額は、約3,800万円であるが、財源は全体を見直し、予算を確保したい。町民には納得頂けるよう説明する。
質問 給食費無料化の狙いは。
答弁 若者定住に繋がると考えている。

多世代交流センターはどうする

質問 多世代交流センター基本計画の公募により入選者が決定したが今後の進め方は。

で教育に充てるべきでは。
答弁 マイナスではないと信じて進めたい。投資的経費と考えている。
質問 同じく経費をかけるのであれば、給付型の奨学金を設け、町に戻ったら返済なしにするなど地元に戻る制度を考えてはどうか。
答弁 まず、働く場が必要。検討すべきことは多い。



新しい給食センターで作られた給食の試食会が行われ、親子づれなど多くの方が参加した。

町民の信頼を取り戻すには、質問をかわすばかりでなく、質問に真摯に向き合って答弁してほしい。切に願う。

答弁 全体で10億円以上かかる。財政に与える影響など検証し、有識者会議の意見を聞いて検討したい。

町長公約

老人ホーム どう実現させる

質問 地域密着型の老人ホームをどの様にしているのか。
答弁 試案が出来てから相談する。

質問 介護士不足を町長は認識しているのか。
答弁 就労改善、給料の優遇、資格取得の補助等により人員を確保する。

質問 職員を増やすことにつながるのでは。
答弁 必要な人員は確保する。

質問 町が強く関わりを持ち、入居者が安心して利用できる施設にしたい。
質問 職員を増やすことにつながるのでは。
答弁 必要な人員は確保する。

質問 町内に低料金の施設4カ所できるのか。
答弁 4カ所は便宜上言った。地域住民の要望と使い勝手による。

質問 町が管理運営を行う施設と言っているが。
答弁 町が強く関わりを持ち、入居者が安心して利用できる施設にしたい。

質問 町民専用の老人ホームはできるのか。空手形になるのではないのか。
答弁 詳細な内容はこれから考える。

質問 町内に低料金の施設4カ所できるのか。
答弁 4カ所は便宜上言った。地域住民の要望と使い勝手による。

質問 町が管理運営を行う施設と言っているが。
答弁 町が強く関わりを持ち、入居者が安心して利用できる施設にしたい。

質問 町民専用の老人ホームはできるのか。空手形になるのではないのか。
答弁 詳細な内容はこれから考える。

町政をただす

一般質問とは

議会は、住民の皆さんに代わって町の行財政の運営を監視する役割があります。
一般質問は、その議会を構成する議員に与えられた権利です。町の事務の執行状況や町の将来への考え方について、報告や説明を町長に求めます。町民のための適切な町政運営が進められているか、質問するものです。

施政方針

町長の町政運営に対する基本的な考え方や予算案及び主要な施策について述べたもの（9月と3月に行われる）



「行財政改革」を推進 民間人ゆえの価値観を

3項目の重点施策(要旨)

1 塙厚生病院の医師不足の解消

幸いにも、現在は整形外科医師2名の体制が図られ、救急外来の受け入れが可能となりましたが、泌尿器科常勤医師や産婦人科医師不足についても、今後さらに積極的に取り組みます。

2 道路環境の整備

国道118号線をはじめ国道289号線、国道349号線の整備は町発展のために不可欠です。地域の要望も多い中、整備促進への取り組みを全力で行っていく所存であります。

3 町財政の経常収支比率悪化の改善

このまま進むことになれば、町政運営への影響も大きく、思い切った「行財政運営の抜本的改革」を行っていくことが必要と思われまます。

鈴木 安次
・多世代交流センター建設
・町長の公約

吉田 広明

・塙町の行財政
・常豊小学校及び常豊幼稚園の統合
・計画について
・待機児童問題

青砥 與藏

・「BPR」手法や「ICT」活用
・湯遊ランドはなわの経営健全化
・補助事業等の事業評価と見直し
・空家対策・空き店舗対策の対応
・薩摩酒造工場跡地の利用企画
・廃止した「米山荘」、民間委託した「給食センター」

鈴木 茂
・先の町長選挙における公約
・子育て支援

・町有施設「道の駅はなわ、湯遊ランドはなわ」
吉田 克則
・宮田町長の選挙公約
・教育長不在

七宮 広樹

・宮田町長が掲げた公約
・「山水花のまちづくり」 塙町第5次長期総合計画

高縁 光

・町長選挙における選挙公約
・介護保険の総合事業
・イノシシによる農作物被害の状況と対策

・その他の一般質問
・一般質問はこのほか、割貝寿一議員（8月2日第7回塙町議会臨時会町長挨拶の中の公約について等）が行いました。

経常収支比率の悪化どうする 補助金や義務的経費の見直しを考えた

質問 経常収支比率

は平成26年度郡内最下位で、監査報告書の中に「70%程度が妥当、悪化傾向にある。」とあり、経常的に支出する

経費が非常に多く、自由な財源割合が少なく、財政が硬直化しているのではないかと答弁 経常収支比率は、減収補てん債及び、

臨時財政対策債を除くと98.1%。公債費は、塙中学校、給食センター、柔剣道場、防災センターの返済が始まり、悪化しており、補助金や義務的経費の見直しを考えた。

質問 経常収支比率とは

使途が特定されておらず、毎年経常的に収入される財源が、毎年度経常的に支出される経費に充当された割合。この割合が低いほど財政にゆとりがあり、さまざまな状況の変化に柔軟に対応できることを示す。

質問 財政悪化と認識はあるのか、起債の削減や基金の積み立てが出来ない中で、これからの財政は、どうなる

質問 行政事務の中で、電算処理業務の経費は、2億5,070万で多額である。単価交渉や委託行程の見直しによって額を減らすべきではないか。

質問 常豊幼稚園・小学校の統合計画は

質問 低賃金や雇用条件の変化に伴い、若い子育て世代は苦勞している。待機児童問題が、いまだに解決されていないが、対策はあるのか。

質問 3歳児を幼稚園で受け入れることも含め、早急に対応したい。



吉田 広明

財政が厳しい。全てに答えられない。最も重要な決定とは、何をするかではなく、何をしないかを定める事だ。



新しく出来た給食センター、公債費の返済が始まる

町民の利便性につながる業務導入は 他市町村の動向をみながら検討していく



青砥 興藏

湯遊ランドはなわの経営健全化について

質問 湯遊ランドはなわの経常収支は赤字となっている。健全化対策は。

質問 都心の田舎暮らし希望者・若者定住促進としても、大いに期待ができるのでは。

質問 民間への補助金は、私的に使われる救済事業になる要素があり、厳しく検討していく必要があるのでは。

質問 米山荘の廃止、民間委託した給食センターについて

質問 米山荘の廃止、給食センターの民間委託は有効だったのか検証が必要でないか。

質問 空き家、空き店舗を利用した事業は

町づくりの大事は、若者と子供がいることです。



旧薩摩酒造跡地にはかつて使われていた焼酎タンクが今も残されている。

質問 一部は利用されているが、施設の多くが使われていない。どのように利用する考えか。

質問 地元産焼酎の製造に向け県の補助事業に取り組んだ。新たな

公約の具体的な内容を問う 身の丈に合った財政運営をしたい

一般質問

質問 選挙チラシは公約と比べてよいのか。
答弁 そのように捉えてもらってよい。

質問 新しいハコモノは造らないと言ったが、老人ホームはつくると言っているが。
答弁 金のかかるハコモノはできるだけ造らないと言った。

質問 0ベースで予算を組み、新しい手法による予算の積み上げとは。
答弁 予算すべてについて必要か否か見直しをしたい。

質問 組み直しのための基準はどうするのか。
答弁 財政に関する諮問機関を立ち上げ意見をいただく。

質問 老人ホームについてはチラシの内容以外に何も決まっていなのか。
答弁 情報収集し、町にとつてより良いものを選定したい。介護度が低い方も入れる施設を目指したい。

質問 介護度が低い方は、施設には入れないはず。また、運営面を考えると小さい老人ホームだけでなく、核となる施設をつくり、それに付随する小規模施設の方が有利だと思ふが。
答弁 介護度の低い方の施設入所は、介護保険の該当外だが、施設対応も必要と考える。老人ホームの形態については、これから検討

質問 宮田町長の選挙公約に「住みなれた地域と生活を守るために」とにあるが『地域と生活』を守る観点からどの様な農林業の振興策及び商業の活性化策を考えているのか。
答弁 中山間地直接支払制度、多面的機能交付金事業等、農地の保全につながる施策を積極的にすすめる。イノシシ対策、竹パウダー栽培によるブランド化を図り農家の所得向上に努め、都市交流事業で風評被害払拭を図りたい。また、道の駅農産物直売所に冬期間出荷できる栽培ハウス施設をどのようなものか

するが、地域を巻き込んだ形で運営を模索したい。



若者住宅が計画されている末広町の敷地

質問 老人ホームについて、介護度が低い方は、施設には入れないはず。また、運営面を考えると小さい老人ホームだけでなく、核となる施設をつくり、それに付随する小規模施設の方が有利だと思ふが。

質問 具体的な待機児童解消策はあるか
質問 こども園多世代交流センターは止める方向なのか。



鈴木 茂

子育て対策、若者支援は町にとって重要な政策だ。町長はエンジン全開スピード感を持ってことに当たってほしい。

答弁 あくまで検証である。
質問 待機児童解消策とは3歳児を幼稚園に入れることなのか。その場合、受け入れは可能か。また保育士の確保はどうするのか。
答弁 多方面から考えたいが、現在の埴幼稚園では難しいので検討をしていく。保育士は新規採用及び就労改善に努める。

若者住宅整備は進んでいるか

質問 若夫婦のための安価な住宅施設とは。
答弁 子育て世代の安い賃貸住宅を準備したい。25年経過後に家と土地を無償で提供する

ことも検討したい。
質問 町が進めている若者向け住宅の進捗状況は。
答弁 台宿北原の2棟はすでに発注したい。また、街中に計画している若者住宅も検討し進めていく。

質問 給食費無料化については、まず半額でやってみようか。
答弁 こどもが毎年減っている、無料にして町で応援したい。

町民専用の老人ホームはどうする

質問 町民専用の老人ホームづくりとは。
答弁 入居費用等は、まだ決める段階にない。詳細は、これから詰めていくが、入居者の負担は少なく、安心して入所したくため、町が強く関与したい。また、町内の雇用を優先したい。

教育長不在で問題はなのか

質問 教育長の不在は教育行政上問題ではないのか。
答弁 情報把握・現場への指示、教職員人事など教育長の存在は重要。

質問 教育長人選の基本的な考え方は。
答弁 最重要視しているのは、学力向上に寄与出来る人物。組織運営力がある人。

農林業振興と商業活性化策どう考える 積極的に押し進めていきたい



吉田 克則

質問 宮田町長の選挙公約に「住みなれた地域と生活を守るために」とにあるが『地域と生活』を守る観点からどの様な農林業の振興策及び商業の活性化策を考えているのか。
答弁 中山間地直接支払制度、多面的機能交付金事業等、農地の保全につながる施策を積極的にすすめる。イノシシ対策、竹パウダー栽培によるブランド化を図り農家の所得向上に努め、都市交流事業で風評被害払拭を図りたい。また、道の駅農産物直売所に冬期間出荷できる栽培ハウス施設をどのようなものか

良いか生産者の声を聞き検討したい。林業の振興は町にとって重要と思う。出来る限り地場産業の育成として助成していきたい。商業については、商店街の方向性を商工会等と話し合いながら活性化を進めたい。

**町長公約
子育て支援は**

質問 町長が掲げた「これから目指す」ものとする選挙公約の内容を確認したい。
答弁 子育て支援はまず給食費の無料化を考えている。その範囲は、



8月23日に林業希望者が伐採作業を視察した講習会

保育・幼稚園から小学校までで学校教職員等は含まない。また、待機児童一時預かり施設を、埴幼稚園などに土地とプレハブ施設を借り、3歳児を預かることも視野に入れ、保育待機児童解消を考えている。

小中学校の学力向上は、教育関係者と話し合いながら推進したい。

若夫婦の定住促進のため安価な新設住宅提供は子育て世帯に対する支援を充実し、定住につながる施策を考えている。

町の施策は重用。良否の判断を町民の代表として常に発言してまいります。

一般質問

どう進めるのか「公約」・「埴町第5次長期総合計画」 有言実行で進めたい



七宮 広樹

全ての町民に 夢と希望を与えられる 政策を！

給食費無料化はできるのか

質問 財政の悪化を抱え、不安定化を招きかねない。身の丈にあった財政計画が必要ではないか。

答弁 定住化に向け、進めたい。専門的諮問機関を立ち上げ、各事業を見直して財源を確保したい。

性・建設場所等を精査検討中であり、早い時期に示したい。みんなが明るく幸せに暮らせるまちづくりを基本に、みんなで手法手段を合わせ考え進めたい。

埴町第5次長期総合計画 前期計画期間が終了し検証はされているのか、また後期の取り組みと道筋は。
答弁 ほぼ計画に沿って取り組んだ。前期の課題①若者の定住が少ない②子供の数が減少④働く場所がない⑤結婚対策を中心に後期に取り組む。

こども園・多世代交流施設の建設計画はいつか

質問 計画案が示されているが町長が描く埴町の未来像・ビジョン、今後の方向性と進め方は。

答弁 係長以上は熟知しているが、若手職員には毎年4〜5回の研修の中で徹底して教育と周知を行っていく。

埴町第5次長期総合計画 前期計画期間が終了し検証はされているのか、また後期の取り組みと道筋は。
答弁 ほぼ計画に沿って取り組んだ。前期の課題①若者の定住が少ない②子供の数が減少④働く場所がない⑤結婚対策を中心に後期に取り組む。



交流の活動拠点と予定される旧こんにやく試験地

を行うとともに、町民の意見を取り入れ策定している。
質問 都市交流事業が活発に行われているが、魅力ある交流事業を通し、経済効果をもたらす取り組みは。
答弁 観光協会と農家の方々の協力により効果をあげている。今後は竹パウダーのブランド化や交流の活動拠点として旧こんにやく試験地・管理棟整備を検討している。
地域力・交流力を確立し、経済効果をもたらす仕組みづくりに努める。

こども園・多世代交流センター見直し時期は年内には見直しを示したい



高縁 光

質問 学校給食費無料化の公約もあるがどの

質問 こども園・多世代交流センターの建設事業計画を見直すとしているが、すでに予算が可決しており、国の補助金との関係や設計との関係があるが具体的見直し時期はいつか。
答弁 こども園・多世代交流センターは必要であり、建設場所等検討している。国県の補助はわずかしがなく過疎債を利用して行いたい。年内には、見直し内容をご提示したい。

新しい総合事業でどう変わる
質問 介護保険の総合事業はどのように進めるか。
答弁 2年前の法改正により、来年の4月からすべての自治体で実施することになっている。埴町では、来年の1月から移行を開始したいと考えている。

現在要支援1・2の方が受けられているサービスは、自宅訪問介護（入浴、リハビリテーション）、医師指導による療養指導、訪問看護（入居生活者介護（ショートステイサービス、リハビリテーション）通所介護（リハビリテーション）等約6割の要支援1・2の方が現在サービスを受けている。財源は変わらず、今後は65歳以上の方すべてを対象に予防対策を進めていきたい。



町では、病気にならないためのさまざまな予防策を実施している。

イノシシ被害改善政策は

質問 イノシシによる農作物被害の状況と対策は。
答弁 被害は馬鈴薯、里芋、水稲の外農地の掘り起こし、土手や水路の破損などである。昨年は、61頭を捕獲した。電気牧柵、鉄柵、わな等の補助をしている。（P19 追跡レポート参照）

質問 介護保険の総合事業とは。
答弁 介護保険制度改正により、これまで予防給付として提供されていた全国一律の訪問介護及び通所介護を、各自治体で行う地域支援事業に移行し、地域の実情に応じて、多様な生活支援ニーズに応えるサービスを総合的に提供できる仕組みとして実施するもの。

今後団塊の時代は健康格差が重要になり対策を考える必要がある。

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

●平成 28 年 3 月定例会

町指定文化財(湯舟観音堂)の保護を

過疎高齢化により地域での文化財の維持修繕は困難となる。ふるさと納税積立金などを活用し補助できないか。

文化財保護審議会で検討したい

指定文化財修繕には補助制度があり、これまでも補助した例がある。文化財を保護すべき範囲、補助対象、補助の財源を文化財保護審議会で検討していきたい。

3月17日に審議会が現地調査

補助は文化財そのものの修繕等に要する経費のほか、その管理に必要となる経費も対象となる。質問のあった、湯舟観音堂については審議会で現地調査を行ったが、補修が必要なのは指定文化財そのものではなく、参道の階段であったため補助対象外とされた。

一回メモ

文化財保護審議会とは？

埴町文化財保護条例に基づき、設置され教育委員会の要請(諮問)に応じ、文化財の保護及び活用に関する重要事項について調査審議する機関。任期は3年で5人以内で組織される。



湯舟観音堂

●平成 28 年 9 月定例会

イノシシ被害改善政策は

イノシシによる農作物被害の状況と対策、その成果は。

対策のための補助金を出していきたい

イノシシによる農産物の被害は、大変心配され危険もされる。町としてはできるだけ迅速に対応したい。

実施隊と防御措置で対応

<被害状況>

主な農作物の被害は、馬鈴薯、里芋、水稻などの食害。特に中山間地域では水稻の被害が多い。

被害の状況 (表1)

年度	被害額	被害面積
平成 25 年度	40 万円	0.41 ヘクタール
平成 26 年度	183 万円	1.17 ヘクタール
平成 27 年度	105 万円	0.55 ヘクタール

※農地の掘り起こし、土手や水路の破壊については農作物ではないので被害額に含まれていないが、上記の額に計上されない被害も発生している。

<対策>

1. 捕獲等に関する取組

イノシシの有害捕獲は、埴町有害駆除隊(平成28年度より埴町鳥獣被害対策実施隊)を編成して、銃やわなによる捕獲を実施した。

猟期(11/15~3/15)については、猟友会東白川支部埴町分会員に依頼をして、捕獲を実施。(捕獲に対しての補助1頭2万円)

捕獲数:平成25年度213頭、平成26年度263頭、平成27年度283頭

2. 防護柵の設置等に関する取組

地域単位で実施する場合には、電気柵設置に対し補助する。(補助率1/2) また、行政区単位で設置する鉄柵についても補助している。(補助率:材料費10/10)

・電気柵設置実績

平成25年度 16地区 23,000m
平成26年度 17地区 23,800m
平成27年度 59地区 35,100m

・鉄柵設置実績

平成25年度 1行政区 1,500m
平成27年度 2行政区 1,750m

3. 補助金額

平成25年度794万円、平成26年度704万円
平成27年度923万円

ひとことインタビュー

9月定例会の傍聴者数はのべ51人でした。傍聴された方の中から、根本富博さんに傍聴した感想などをインタビューしました。

議論を交わし、より良い町づくりを

根本 富博さん
(西河内)

傍聴のきっかけは。

今年3月に町議会議員選挙、6月に町長選挙が行われ新体制になって初めての一般質問議会となったので傍聴してみました。

傍聴された感想はどうでしたか。

各議員さんから、6月執行の町長選挙の公約に質問が集中し、執行部側、議会側も町の将来像につ

議員に対する要望はありますか。

人口減少と高齢化が加速度的に進み、町の行政課題も山積する中、これらを一朝一夕に解決することは大変難しいと思いますが、町の実態を的確に把握し、執行者、議会に十分な議論を交わして頂いて町民の要望を町政に反映させて頂ければと思います。

いて、緊張感あふれる真剣なやりとりがあり両者の町づくりへの強い思いを感じました。

議会や町政に対する要望はありますか。

今回の議会では、定数の半数以上の議員さんが町の考えをただししました。今後もより良い町づくり、町民の福祉向上に向け、日頃より問題意識を持って更に多くの議員さんが質問に立たれる事を望みたいと思います。

請負契約締結を議決

林道大日向線今年度完成へ

臨時議会

7月8日及び8月2日に第6回・第7回臨時議会が招集された。

第6回臨時議会

・林道大日向線の工事請負契約の締結について。

指名競争入札の結果、深谷建設株式会社(株)が8985万6000円で落札した。

本工事は、平成23年度から行っており、今年度で全線完了する見込み。

湯遊ランド決算報告

・(株)埴町振興公社の決算報告について。

町が資本金の2分の1以上を出資している(株)埴町振興公社の第19期事業年度決算報告を受けた。

第7回臨時議会

新しい農業委員会

・埴町農業委員会の委員等の定数に関する条

例の制定について。

平成28年4月1日に農業委員会等に関する法律が施行されたことに伴い、新たに農業委員会の委員の定数及び農業委員会の推進委員の定数を定める条例が提出されこれを議決した。

主な変更点は、農業委員の選出方法を町長による選任制(議会の同意を得て任命)とし、農地利用最適化推進委員を新設するもの。埴町では来年の2月から適用される。

教育委員に岩井義道氏

・教育委員会委員の任命について。教育委員任命の同意を行った。



岩井 義道氏
(川上)

議員定数等検討協議会発足!

2年をめどに議員の定数・報酬を模索



西郷村議員の皆さんと協議委員。西郷村議会では、議員定数を平成27年3月に18人から16人にした。

本格始動！西郷村などへ視察

9月28日、本町議会の定数等の見直しの参考とするため、正副議長はじめ見直し当時の中心となった議員さんに出席いただき、見直しの経過などの説明を受け議員定数に関する意見交換を行いました。

7月20日議員定数等検討協議会を設置

し、議員定数や議員報酬のあるべき姿の検討に入った。この協議会は、定数や報酬を見直した町村への研修、有識者を講師とした研修、議会報告会での町民との意見交換など定数報酬の見直しのためおむね2年を目標としている。議員定数・報酬の見直しにあたっては、町政の現状と課題、将来の予測と展望及び他市町村の動向を考慮するとともに町民または学識経験を有する者の意見を参考に（議会基本条例）とあり、十分な検討をし結論を出すことになる。

議員定数の歴史	町村合併により新埴町誕生 特別により議員定数 72名 (旧埴22、旧笹原22、旧石井16、旧高城12) 新埴町発足後初の議会議員誕生 議員定数 26名
昭和30年3月31日	◎選挙区設定(昭30・12・27議決) 第1選挙区(旧埴地区) 8名 第2選挙区(旧笹原地区) 8名 第3選挙区(旧石井地区) 5名 第4選挙区(旧高城地区) 5名 旧石井村3地区(中石井、下石井、戸塚) 矢祭町へ編入につき、第3選挙区の定数 4名減員(昭32・4・6議決 決選及適用) 次の一般選挙(昭35・3・30)までとする
昭和32年1月10日	選挙区制を廃止し大選挙区により執行 法定数26名 議員定数26名
昭和35年3月31日	昭43年の一般選挙から議員定数4 名を減員の条例制定 法定数26名 議員定数22名
昭和41年3月15日	昭59年の一般選挙から議員定数を 更に2名減員する条例制定 法定数26名 議員定数20名
昭和58年6月22日	平成12年の一般選挙から議員定数を 更に2名減員する条例制定 法定数26名 議員定数18名
昭和59年3月31日	平成16年の一般選挙から議員定数を 18名から14名に改正 法定数22名 議員定数14名
平成11年12月20日	議員定数の14名は現状維持とし、報 酬について、議員2名分に相当する 額を削減。
平成15年12月18日	
平成23年12月15日	

委員会 レポート

総務常任委員会 こども園・多世代交流センター 建設事業と子育て支援事業の調査



4組の親子が参加し七夕の短冊づくりやトンネル遊びをおこなったのびのび教室

こども園・多世代交流センター建設

は、公募型簡易プロポーザルで設計業者を選定し、業者と協議しながら進めるとしていましたが、このほど委託予定業者がエーユーエム構造設計(株)(郡山市)に決定した旨説明があった。(正式契約ではない)

子育て支援事業

は、0歳から幼稚園等入園前の子供と保護者を対象に行っている「のびのび教室」、図書館での「おはなし会」、子育て中の母親などを対象にした「子育てサロン」などを見学した。委員からは同じような支援事業をひとつにし、一カ所で子育て支援事業を行うことが必要ではないかとの意見が出された。

経済常任委員会 松くい虫の被害対策、 イノシシ被害防止対策の状況を調査

松くい虫の被害は年々広がっている

が、今回は伊香地区の状況を調査した。毎年この時期になる

と枯れた松の木が目立つ。数年前までヘリコプターによる薬剤散布を実施していたが、今は行っておらず、その



白く点在するのがビニールで覆われた松の木

イノシシ被害対策

ため被害が拡大したとも言われる。現在は、枯れた木を伐採して消毒し、松くい虫が拡散しないようにビニール(自然にやさしい)で覆っている。調査では、台宿地内の水田で電気柵の設置状況を確認した。電気柵や金網柵設置には補助制度があり、個人(1人)では該当にならないが、複数の方が共同で設置する場合は該当する。また、場所が点在する場合は、行政区として申請してほしいとのことだ。委員からは、駆除隊員を増やすためにも免許取得に補助金を出すべきではないかとの意見が出された。

議会の動き

議会による行政評価を研修

—執行部へのチェック機能の強化を目指す—

8月5日(金) 埴町議会議員研修会がおこなわれ、「議会における行政評価の活用方法」と題し全議員を対象に研修を実施しました。一般財団法人 行政経営支援協会 坂口正治氏を講師に招き、行政評価の具体的なやり方を、健康推進事業を取り上げ、議員が3グループに分かれ演習形式で行いました。



意見を出しあってグループ演習

議員が激励、見事準優勝に輝く

—埴町第1分団が県大会出場—

9月4日(日) 第40回福島県消防操法大会が福島県消防学校でおこなわれ、埴町消防団がポンプ車操法の部に出場しました。議長はじめ議員も応援に駆け付け、競技順1番という緊張感のなか、見事な操法を披露し、準優勝に輝きました。5カ月以上にわたる練習を積んだ選手の皆さん、大変お疲れ様でした。



選手にエールを送る大縄武夫議長

議会モニターさんの

声

今回は、議会だより135号(28年7月15日発行)について寄せられた意見を掲載します。

◎笹原財産区特集についてP2~3

会長さんのコメントがあることによって、金額だけ見ると高額であるが和らいだ特集となっていると思う。歴史と共に山林が守られてきたことが分かる。

対応 難しい内容も関連した歴史や解説を多くし、わかりやすく掲載していきたい。

◎国民健康保険特集についてP4~5

国保税の決め方に関して、「個人の所得などによって額が決まる」とあるが、より具体的な説明が欲しい。

対応 深く理解できる内容にするためにも、必要な説明を多く掲載するよう努力したい。

◎傍聴者インタビューについてP11

堅苦しい内容ばかりのページに、町民の声や知り合いが載っていることで親しみが湧いてくる。

対応 町民参加型の議会広報を目指して、今後も続けていきたい。

◎その他

追跡レポートの内容が2つになった事は、モニター会議の改善点が実施された事であり、今後も続けて欲しい。
一口メモは、もう少し大きく載せたほうがいい。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。



遠藤勢子さん
(笹原地区)

子育て中の
お母さんの声を大切に

議会だよりについては、以前より見やすく、分かりやすくなりました。私は、議員さ

ん達にお願いしたい事があります。町議選の時に、ほとんどの方が、子育て、少子化対策を掲げていました。一時預かり保育、遊具のある公園、屋根のついた広場、紙おむつの補助金等、お母さん達の声が聞かれます。このような声を大切に受け止め、議員さん方も子育て中のお母さん方の声を実際に聞いていただき、できるだけ実行に移して欲しいと思います。



鈴木孝儀さん
(高城地区)

読んでみたいと思わせる議会だよりを

モニターを委嘱されてから議会だよりに興味深く拝見させて頂いています。何かかと言うと、今まで議会だよりに対してあまり関心が無かったと言え、そう「と答えると思いま

す。議会だよりを見ますと町議会の定例会における質疑応答の様子や町予算及び色々な事柄など、町の現況を垣間見る事が出来ます。皆さんの中には、私と同じ様に思っている人がいるかも知れません。その為にも、議会だよりを手につけた時に「読んでみたい」と思う気持ちになるのにはどの様にすればいいのかを考えて、意見・提案を行いなから、議会だよりの充実と読みやすい誌面作りを微力ながらお手伝い出来ればと思っております。

議会活動出欠状況

平成28年7月1日~9月30日

年月日	会議名称	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	高緑光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
28.7.6	総務常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—
28.7.6	広報常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
28.7.8	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
28.7.8	7月臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28.7.8	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28.7.8	広報常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
28.7.15	総務常任委員会(調査)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—
28.7.20	総務常任委員会(調査)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—
28.7.20	議員定数等検討協議会	○	—	—	—	—	—	○	○	—	○	—	—	○	○
28.7.21	総務常任委員会(調査)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—
28.7.28	総務常任委員会(調査)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—
28.8.2	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—	○	○
28.8.2	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28.8.2	8月臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28.8.2	総務常任委員会	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—
28.8.2	議員定数等検討協議会	○	—	—	—	—	—	○	○	—	○	—	—	○	○
28.8.31	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—	○	○
28.9.2	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28.9.2	広報常任委員会	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28.9.8-9	9月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28.9.9	総務常任委員会	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—
28.9.9	経済常任委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—	—	○
28.9.12	9月定例会	○	○	○	私用遅参	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○
28.9.12	議会運営委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○
28.9.13	9月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28.9.14	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28.9.14	議会運営委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○
28.9.15	議会運営委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○
28.9.15	9月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28.9.15	議会運営委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○
28.9.28	議員定数等検討協議会	○	—	—	—	—	—	○	○	—	○	—	—	○	○

○出席 —該当外

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：もみじを育てる会

活動場所：埴大津港線沿い

代表者：神永哲彦さん TEL 43-2870

「紅葉街道復活を目指して」



作業を終えてひとやすみ

平成4年埴大津港線の道路改良により多くのもみじの木が倒され紅葉の名所が無くなり、初代会長の金澤慎一朗さんが大蔵、大畑、那倉地区の有志に呼びかけて「もみじを育てる会」会員46名が誕生しました。以来苗木の植栽、つる切り、下草刈り、雑木の伐採などの作業を年3回行い紅葉の名所が

復活しました。今では観光に訪れる人も「いろいろな紅葉の名所を見てきたがこのもみじが一番だ」と、太鼓判を押してくれます。また功績が認められて町の善行功労表彰も受けました。現会長の神永さんは「雨の日や暑い日、危険な作業など大変だがきれいな紅葉を見るたびにこの街道を守ってゆこうという気になります。今後町からの支援があれば河川内の倒木撤去や清掃をすることも可能です」と話していました。



那倉川の美しい紅葉

編集後記

新町長にとって最初の議会でありました。一般質問には8人の議員が登壇し活発な論戦が行われました。少子高齢化、人口減少、若者定住等、埴町にも様々な問題が山積しております。
「議会は二元代表制の一方の機関として、町長その他の執行機関との立場及び権能の違いを踏まえ、常に緊張のある関係を保持しなければならない。」と埴町議会基本条例に明記されております。議員の姿が見えないとの話を聞きますが、町民の多様な意見を集約して代弁するのは議員としての重要な仕事であります。これまでも、これからもその方針に変わりはありません。
鈴木 安次

議会傍聴に おいでください

次回の定例会は、12月15日から開会される予定です。氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお出かけください。

広報常任委員会

- | | | | |
|------|-----|-----|----|
| 委員長 | 吉田重 | 田次茂 | 則人 |
| 副委員長 | 下鈴木 | 鈴木安 | 克義 |
| 委員 | 鈴木吉 | 田宮 | 安茂 |
| 委員 | 鈴木七 | 宮 | 廣樹 |

※議事録は、会議室または議会事務局へお申し込みください。